



さまざまなアクティブ・ラーニング

- ◆ 国際関係学科では、多言語・多文化の現場で活躍する人材の育成を目指して、アクティブ・ラーニングを含むさまざまな教育実践に取り組んできています。
- ◆ 「プロジェクト型演習」：2015年度から開講の専門科目。「手を動かしながら学ぶ」をコンセプトに、フィールドワーク実習、国際交流事業、観光プラン立案など、社会での実践活動を通じた学びを目指しています。
- ◆ 「映像制作実習」：2012年度からの取り組み。桃山学院大学や国立民族学博物館との連携のもと、フィールドワークに基づいた映像制作の実習を実施。これまでにのべ130人が参加し、68作品が完成しました。

【関連行事】 本学科の教育実践を一挙にご紹介します。
公開シンポジウム「アクティブラーニング教育実践の10年：
愛知県立大学国際関係学科の挑戦」
2019年11月1日（金） 文部科学省情報ひろばラウンジ
詳しくは「情報ひろば」ウェブサイトをご覧ください。

【文献】 本学科の取り組みを以下の文献でご覧いただけます。
河合塾編. 2016. 『大学のアクティブラーニング』 東京: 東信堂.
東弘子・亀井伸孝. 2013. 「フィールドワークを活用したアカデミックスキルの教育」 『愛知県立大学外国語学部紀要: 地域研究・国際学編』 45: 245-258.
亀井伸孝. 2015. 「愛知県立大学におけるフィールドワーク教育実践報告」 『共生の文化研究』 9: 113-126.
亀井伸孝ほか. 2019. 「愛知県立大学国際関係学科「プロジェクト型演習」実践報告」 『愛知県立大学外国語学部紀要: 地域研究・国際学編』 51: 173-199.